

マトリックス IP KVM

Extio™ 3

ユーザーガイド

matrox



V1.3

安全のために必ずお読みください

本書をお読みいただき正しい方法でご使用ください。誤った使用方法による危険を表すものとして下記の表示を使用しています。








 警告	誤った取り扱いをした場合に死亡や重傷などの重大な結果を伴う可能性があることを表します。	 注意	誤った取り扱いをした場合に軽傷を負うか、物的な損害が生じる可能性があることを表します。
---	---	---	---

記号の説明

	注意を促すことを表します。
	してはいけないこと（禁止）を表します。



万一異常が発生した場合は直ちに使用を止め、AC アダプターを抜いて、機器を安全な場所へ移動してください。異常があるまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。

	斜面や不安定な場所に置かないでください。また壁面などに設置する場合は確実に固定してください。落下などにより怪我の原因となります。
	異常な発熱がある場合や、煙を発した場合、また不自然な臭いを感じた場合は、直ちに AC アダプターを本機から抜いて使用を中止してください。
	壊れた機器や異常のある機器を本機に接続しないでください。本機の故障の原因になるだけでなく、火災や感電の原因となる場合があります。
	水に濡れた場合や、内部に異物が入った場合は AC アダプターを本機から抜いてください。
	AC アダプターのケーブルに重いものを乗せたり、折り曲げたまま力を加えたり、強く引っ張ったりしないでください。ケーブルの断線が生じ、火災や感電の原因となります。
	裏蓋を外して本機を分解する、独自の修理を行う、または改造するなどしないでください。火災、感電の原因となる場合があります。
	屋外や浴室など水がかかるおそれがある場所では使用しないでください。



注意

注意事項をよくお読みください。誤った設置方法や取り扱いによって機器に故障が生じ、火災、感電の原因となる場合があります。

	本機は屋内での使用を前提としております。屋外では使用しないでください。故障の原因となる場合があります。
	ご使用の際は直射日光が当たる場所を避け、暖房器具などの熱を発するもの、火気のそばには置かないでください。
	使用中に本機に布を被せて通気を妨げないでください。またテープを巻きつけるなどしないでください。通気を妨げると本体の温度が上がり故障の原因となります。
	本機は車載用に設計されたものではありません。継続的な振動を受け続けると故障の原因となる場合があります。
	本機を密閉された狭い場所には設置しないでください。また通気のある場所に設置してください。密閉された通気のない場所で使用すると本体の温度が上がり故障の原因となります。
	高温、湿度の高い場所、温度変化の大きい場所、または湯気、油煙にさらされる場所には設置しないでください。故障の原因となります。また結露したまま使用しないでください。
	AC アダプターをコンセントから抜く際は AC アダプターをしっかりと持って抜いてください。ケーブル部を引っ張って抜かないでください。
	AC アダプターはコンセントにしっかりと奥まで接続してください。また LAN、HDMI 等のケーブル類は真っ直ぐに確実に本機に接続してください。
	AC アダプターがコンセントから抜けかけた状態で使用しないでください。コンセントから抜けかかった状態で使用すると火災、感電の原因となる場合があります。

目次

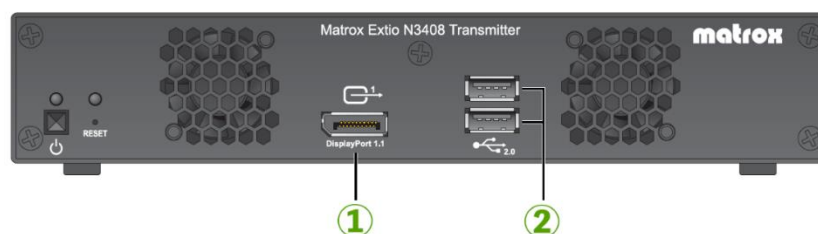
1 筐体	6
1.1 前面	6
1.2 背面	8
1.3 カードタイプ送信機	10
1.4 インジケータランプ	101
2 デバイスの接続と起動手順	12
2.1 ホスト PC の電源を入れ、OS 起動を起動します	112
2.2 送信機	12
2.3 受信機	13
3 Point to Point モードのセットアップ	14
3.1 機器の接続	14
3.2 Point to Point モードの有効化	14
3.3 送信機の確認	14
3.4 受信機の設定	15
4 Matrox Extio Central Manager のインストール	16
5 初回設定 – クイックセットアップ (ネットワークモード)	18
5.1 デバイスを検出する	19
5.2 ログイン (管理者ユーザー情報登録)	19
5.3 デバイスの管理者権限を取得	20
5.4 デバイスの結びつけ	20
5.5 ユーザー管理	21
5.6 受信機から送信機の検出	21
6 デバイス設定のリセット	22
6.1 送信機/受信機	22
6.2 カードタイプ送信機	22
7 設定ポイント	22
7.1 Wake-on-LAN [リモートから電源 On] (送信機/受信機共通)	22
7.2 オーディオ(受信機)	23

7.3	キーボードショートカット (受信機).....	23
8	統合表示モード (Aggregator mode:アグリケーターモード).....	24
9	ファームウェアのアップデート.....	26
10	仕様.....	27
10.1	Extio3 N3208 (2 映像伝送タイプ) デバイス仕様	27
10.2	Extio3 N3408 (4 映像伝送タイプ) デバイス仕様.....	29
10.3	電源ユニット仕様及び規格	32
10.4	ネットワークプロトコル・ポート.....	33

1 筐体

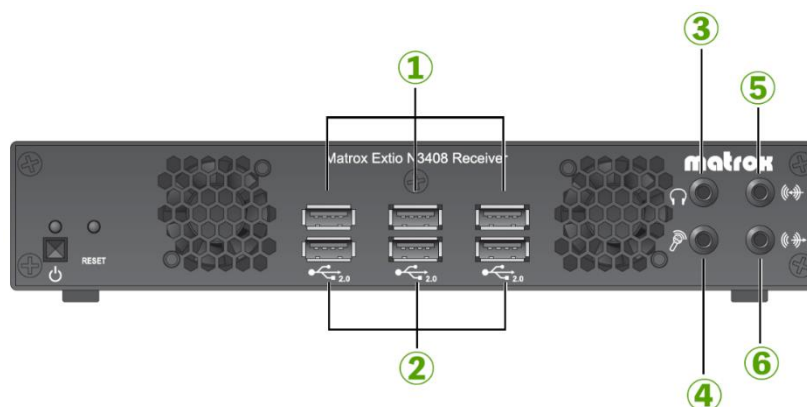
1.1 前面

[Extio3 N3408 送信機]

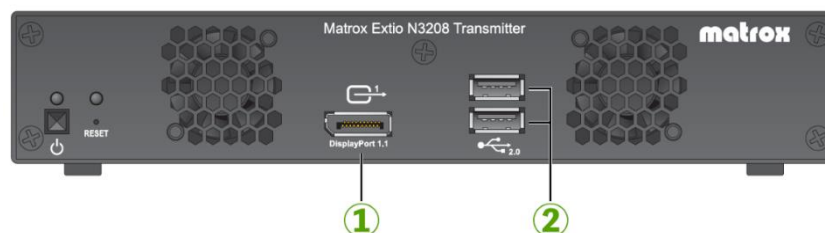


① Video Out	受信機が選択している入力映像をプレビュー ※将来のファームウェア更新で対応予定
② USB2.0	USB デバイス接続 (タイプ A)

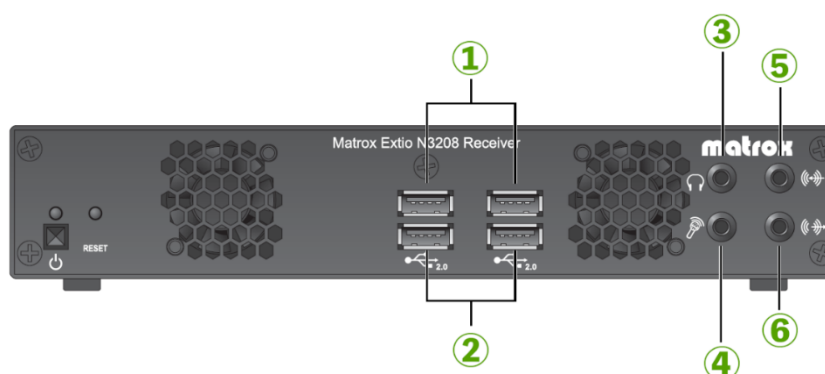
[Extio3 N3408 受信機]



① USB 2.0	USB デバイス接続 (タイプ A)
② USB 2.0	USB デバイス接続 (タイプ A)
③ Headphone	ヘッドフォン出力
④ Microphone	マイク音声入力
⑤ Line In	アナログ音声入力
⑥ Line Out	アナログ音声出力

[Extio3 N3208 送信機]

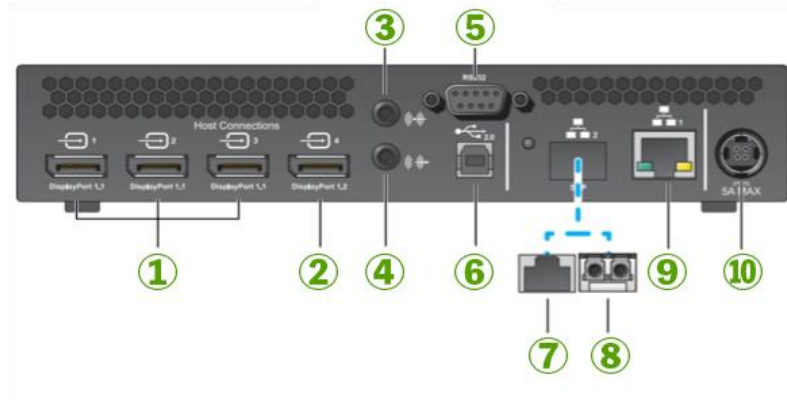
① Video Out	受信機が選択している入力映像をプレビュー ※将来のファームウェア更新で対応予定
② USB 2.0	USB デバイス接続 (タイプ A)

[Extio3 N3208 受信機]

⑦ USB 2.0	USB デバイス接続 (タイプ A)
⑧ USB 2.0	USB デバイス接続 (タイプ A)
⑨ Headphone	ヘッドフォン出力
⑩ Microphone	マイク音声入力
⑪ Line In	アナログ音声入力
⑫ Line Out	アナログ音声出力

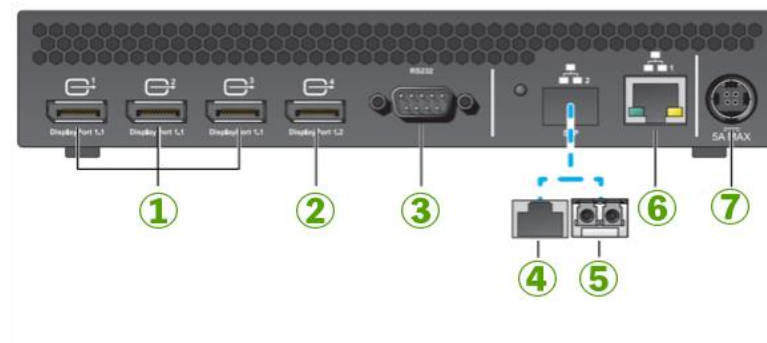
1.2 背面

[Extio3 N3408 送信機]



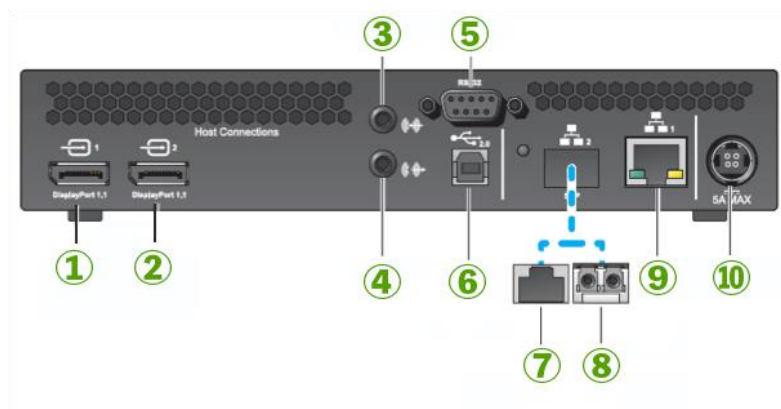
① Video In	Display Port 1.1 入力 (1920x1200)
② Video In	Display Port 1.2 入力 (3820x2160@60hz)
③ Line In	アナログ音声入力
④ Line Out	アナログ音声出力
⑤ RS232C	シリアル信号接続
⑥ USB2.0	PC へ接続 (タイプ B)
⑦ ⑧ LAN2	ネットワークオプションポート (ファイバー/RJ45 選択可)
⑨ LAN1	RJ45 ネットワークポート
⑩ 12-28V DC Power	電源コネクタ (専用 AC アダプター用)

[Extio3 N3408 受信機]



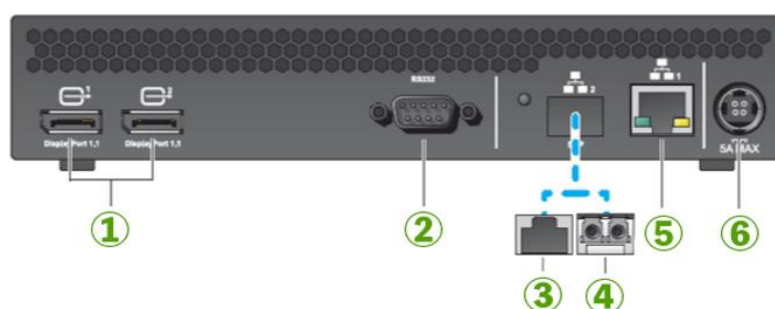
① Video Out	Display Port 1.1 出力 (1920x1200)
② Video Out	Display Port 1.2 出力 (3820x2160@60hz)
③ RS232C	シリアル信号接続
④ ⑤ LAN2	ネットワークオプションポート (ファイバー/RJ45 選択可)
⑥ LAN1	RJ45 ネットワークポート
⑦ 12-28V DC Power	電源コネクタ (専用 AC アダプター用)

[Extio3 N3208 送信機]



① Video In	Display Port 1.1 入力 (1920x1200)
② Video In	Display Port 1.1 入力 (1920x1200)
③ Line In	アナログ音声入力
④ Line Out	アナログ音声出力
⑤ RS232C	シリアル信号接続
⑥ USB2.0	PC へ接続 (タイプ B)
⑦ ⑧ LAN2	ネットワークオプションポート (ファイバー/RJ45 選択可)
⑨ LAN1	RJ45 ネットワークポート
⑩ 12-28V DC Power	電源コネクタ (専用 AC アダプター用)

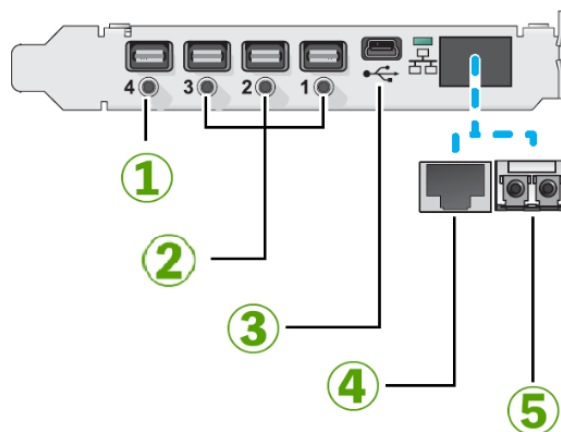
[Extio3 N3208 受信機]



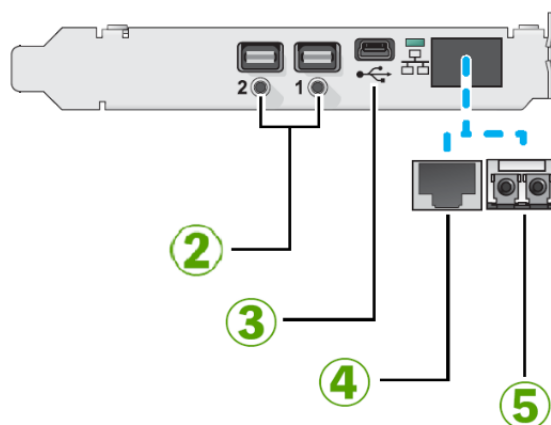
① Video Out	Display Port 1.1 出力 (1920x1200)
② RS232C	シリアル信号接続
③ ④ LAN2	ネットワークオプションポート (ファイバー/RJ45 選択可)
⑤ LAN1	RJ45 ネットワークポート
⑥ 12-28V DC Power	電源コネクタ (専用 AC アダプター用)

1.3 カードタイプ送信機

[Extio3 N3408 送信機]



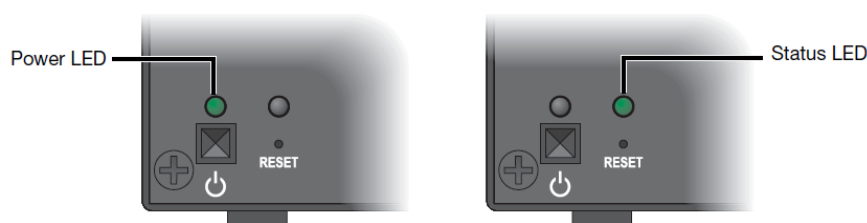
[Extio3 N3208 送信機]



① Mini DisplayPort(1.2)	Display Port 1.2 出力 (3820x2160@60hz)
② Mini DisplayPort(1.1)	Display Port 1.1 出力 (1920x1200@60hz)
③ Mini USB	USB 2.0
④ ネットワークポート	RJ45 標準搭載 (LC-LC はオプション)

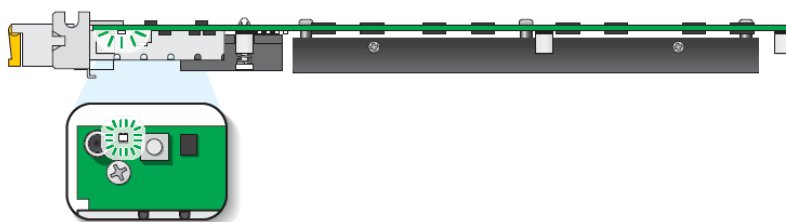
1.4 インジケータランプ (LED)

[Extio3 送信機/受信機]



LED の色	Power LED	Status LED
緑 (スタンバイ - 5 秒に 1 回の点滅)	デバイスの電源はオフですが、まだ電源が入っています	—
緑 (点灯)	デバイスはアクティブです	ソフトウェアの準備ができています
緑 (ゆっくり点滅)	デバイスを再起動しています	—
緑 (早く点滅)	構成をリセットしています	—
オレンジ (点灯)	デバイスはメンテナンスモードです	デバイスを再起動しています
オレンジ (ゆっくり点滅)	デバイスは再起動中で、メンテナンスモードです	ファームウェアの不一致が検出されました
オレンジ (点滅)	デバイスはファームウェアを更新しています	送信機 - USB 接続なし 受信機 - キーボードが検出されませんでした
赤 (点灯)	—	送信機 - ソースが検出されませんでした 受信機 - ディスプレイが検出されませんでした
赤 (ゆっくり点滅)	—	ネットワークが検出されなかったか、ネットワークケーブル接続が無効です
赤 (早く点滅)	ドライバーの検出エラー	致命的なエラーが発生しました
黒 (無灯)	デバイスが正しくインストールされていることを確認してください。また、システムが省電力モードになっていないことを確認してください	—

[Extio3 カードタイプ送信機]



LED の色	ステータス
緑 (スタンバイ - 5 秒に 1 回の点滅)	デバイスの電源はオフですが、まだ電源が入っています
緑 (点灯)	デバイスはアクティブです
緑 (早く点滅)	構成をリセットしています
オレンジ (点灯)	カードはメンテナンスモードです
オレンジ (ゆっくり点滅)	カードはメンテナンスモードで再起動しています
オレンジ (点滅)	デバイスはファームウェアを更新しています
赤 (点灯)	ソースが検出されませんでした
赤 (ゆっくり点滅)	ネットワークが検出されませんでした
赤 (早く点滅)	デバイスが致命的なエラーを検出しました。デバイスを再起動してみてください。デバイスを再起動しても LED が赤のままの場合は、サポートに問い合わせてください

2 デバイスの接続と起動順序

2.1 ホスト PC の電源を入れ、OS 起動を起動します

2.2 送信機

- ① デバイスと電源アダプターを接続します
- ② デバイスと PC を DisplayPort ケーブルで接続します
- ③ デバイスと PC を同梱の USB(タイプ B)ケーブルで接続します
- ④ デバイスへ LAN ケーブルまたは光ケーブルを接続します
- ⑤ デバイスの電源を入れます

2.3 受信機

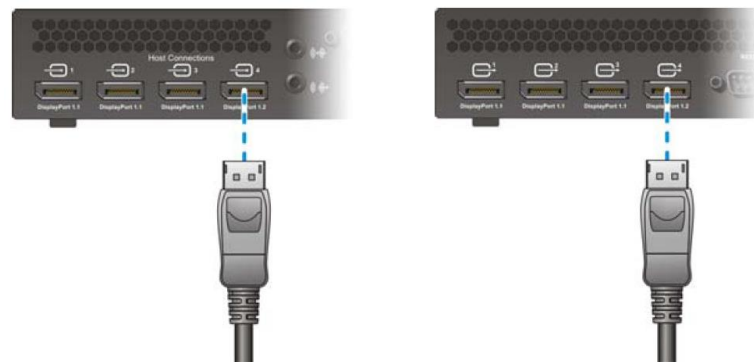
- ① デバイスと電源アダプターを接続します
- ② デバイスとディスプレイを DisplayPort ケーブルで接続します
- ③ デバイスへ USB キーボードとマウスを接続します
- ④ デバイスへ LAN ケーブルまたは光ケーブルを接続します
- ⑤ ディスプレイの電源を入れます
- ⑥ デバイスの電源を入れます

※ディスプレイに表示が出ない場合は、LED 表示状態と、送信機・受信機とそれぞれの接続機器との接続に問題が無いかご確認ください。

また、それぞれの機器の電源の Off/On をお試しください。

2.4 4K60p 接続 (N3408 送信機/受信機のみ)

4K 解像度を使用するには、ディスプレイを 4 というラベルの付いた DisplayPort 1.2 のコネクタに接続します。デバイスに接続できる 4K ディスプレイは 1 つだけです。



[各コネクタの対応規格]

	コネクタ 1	コネクタ 2	コネクタ 3*	コネクタ 4*
DisplayPort 1.2	—	—	—	✓**
DisplayPort 1.1	✓	✓	✓	✓
HDMI 1.4	✓	✓	✓	✓
Single Link DVI	✓	✓	✓	✓
Dual Link DVI	✓	✓	✓	✓

* コネクタ 3 とコネクタ 4 は、Extio3 N3408 デバイスでのみ使用できます

** コネクタ 4 は 3840×2160 @ 60 Hz をサポートします

[対応する変換]

- Mini DisplayPort -> DisplayPort : カードタイプの送信機のみ
- DisplayPort -> Mini DisplayPort : 4K 解像度への使用は非推奨
- DisplayPort -> DVI : アクティブタイプのアダプターのみ
- DisplayPort -> HDMI : アクティブタイプのアダプターのみ

3 Point to Point モードのセットアップ

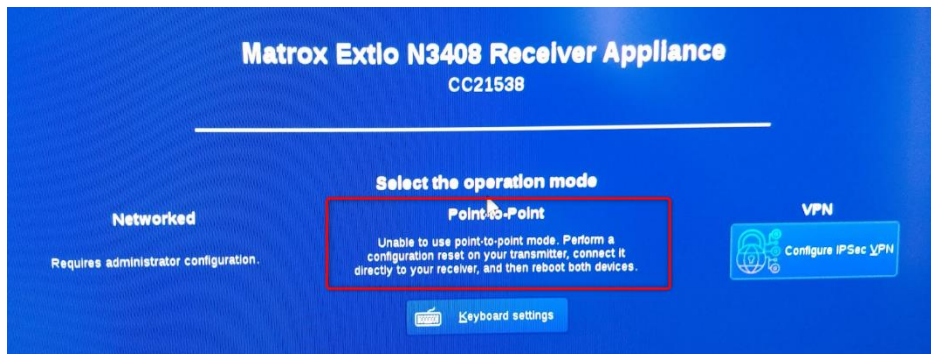
送信機と受信機をポイントツーポイントエクステンダーとして構成する場合は、下記の手順にてセットアップを行います。ポイントツーポイントモードでは、送信機と受信機のデバイスは、銅線または光ファイバーケーブルを使用して相互に直接リンクされます。

3.1 機器の接続

2. デバイスの接続と起動を参照し、送信機と受信機及び周辺機器の接続を行います。

3.2 Point to Point モードの有効化

受信機に表示される下記の画面にて、受信機に接続したキーボードを使用して Point to Point モードを有効にします。

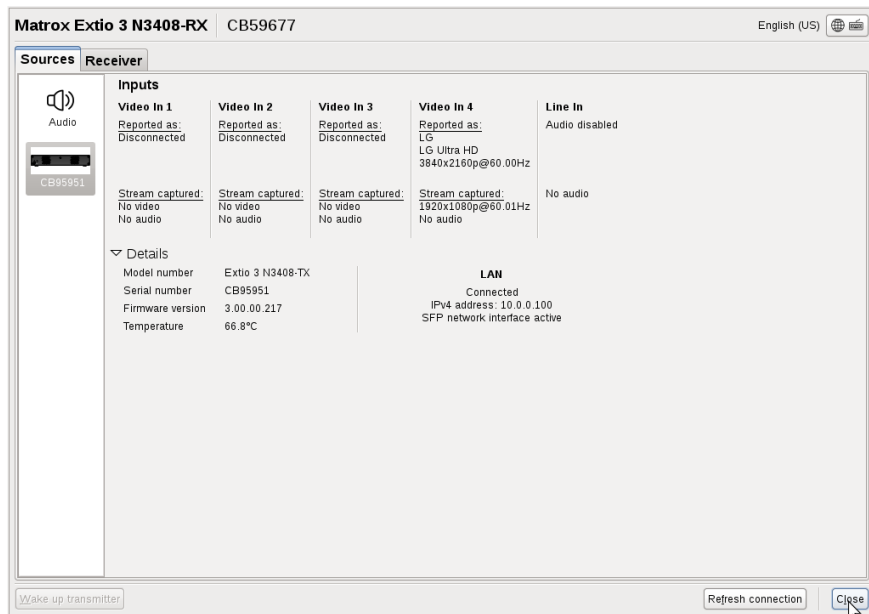


上記の画面が表示されない場合は、6.デバイス設定のリセットを実施してください。

3.3 送信機の確認

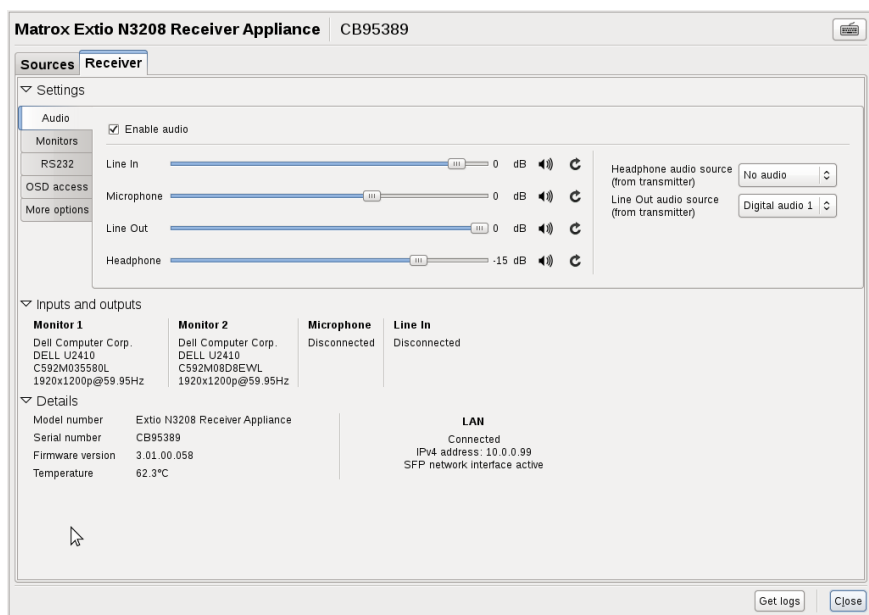
受信機に接続したキーボードにて [Scroll Lock] キーを押すと下図の On-Screen Display (OSD)画面が表示されます。

送信機が表示されない場合は、OSD 画面下部にある「Refresh connection」を実施してください。それでも表示が見えない場合は、ケーブルの接続確認及び送信機のリセットをお試しください。



3.4 受信機の設定

必要に応じて、OSD の Receiver タブにて音量の設定などを行ってください。



Point to Point モードからネットワークモードのように、モードを変更して使用用途を変更される際は、6.デバイス設定のリセットを行う必要があります。

4 Matrox Extio Central Manager のインストール

Matrox Extio Central Manager は、ネットワークに接続された Extio3 デバイスをリモートで管理、監視、構成を行うためのソフトウェアです。

Windows OS のみの対応となり、バージョン 3 以降の以下の種類をサポートしています。

- Windows 7, 10
- Windows Server 2008 R2, 2016, 2019

① ダウンロード

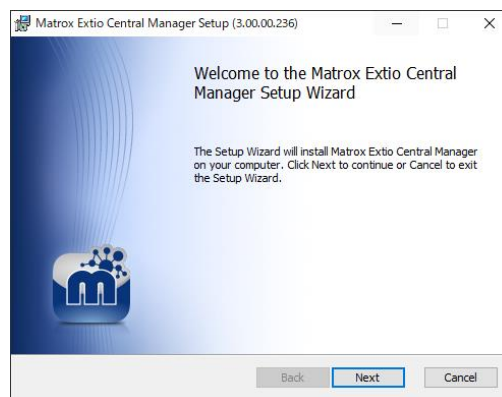
下記の Matrox 社ホームページからダウンロードをします。

<https://www.matrox.com/graphics/en/support/drivers/download/extio3x08/>

② 開始

ダウンロードしたインストールファイルを実行します

ファイル名 = Extio.CentralManager.Setup_vx.xx.xxx.xxx.msi



③ ライセンス同意

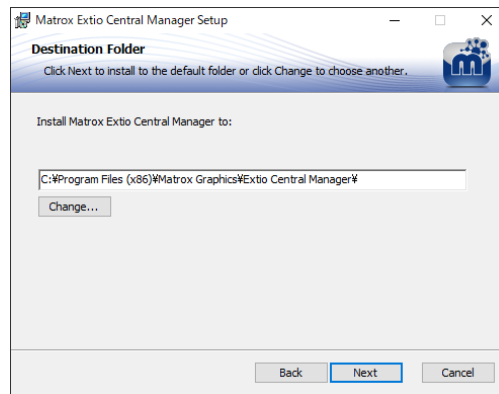
I accept the terms in the License Agreement (同意します) にチェックを入れて

Next を押します



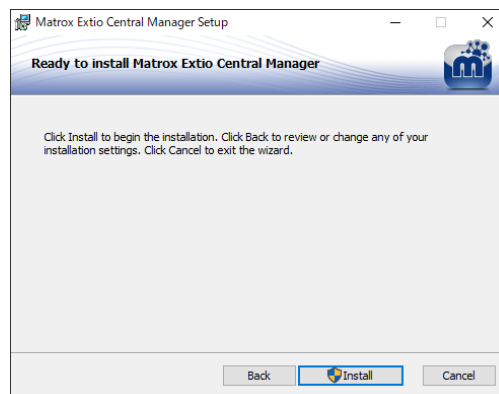
④ インストール先

そのまま Next を押します

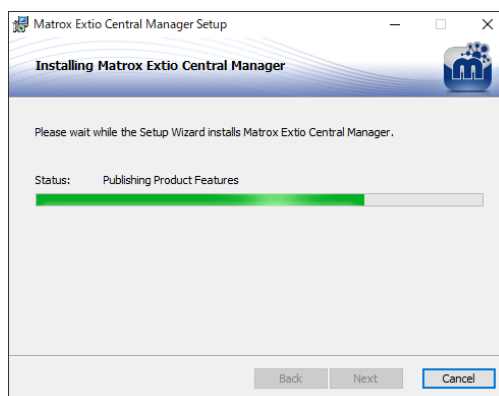


⑤ インストールの開始

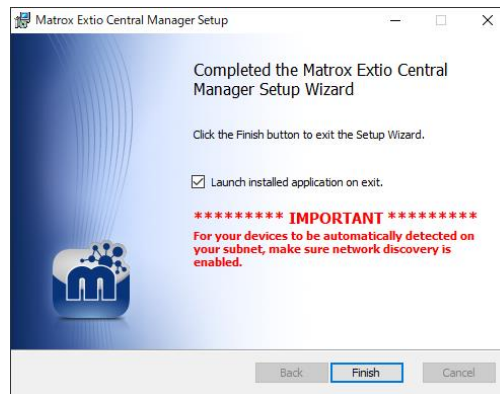
Install ボタンを押します



以下は実行中の画面です



⑥ 終了



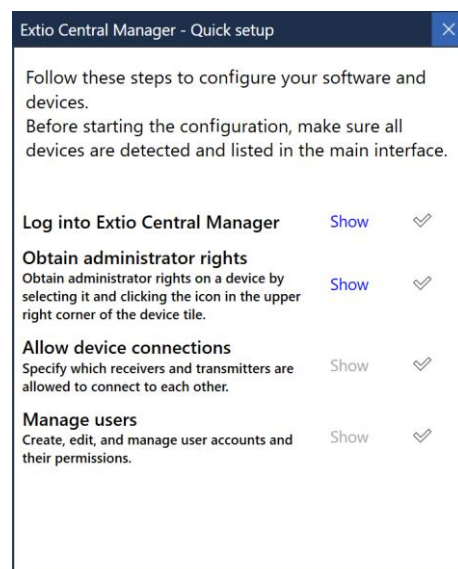
****重要****

デバイスがネットワークサブネット上で自動的に検出されるようにするには、参加するネットワークのネットワーク検出(DHCP)が有効になっていることを確認してください。

5 初回設定 – クイックセットアップ (ネットワークモード)

初回設定は、左図のクイックセットアップに沿って設定を行ってください。

✓ 白のチェックマークは未設定であることを表しています。このマークがある場合は、[Show]をクリックして設定を行います。設定が完了している項目のチェックマークは、黒に変化します。



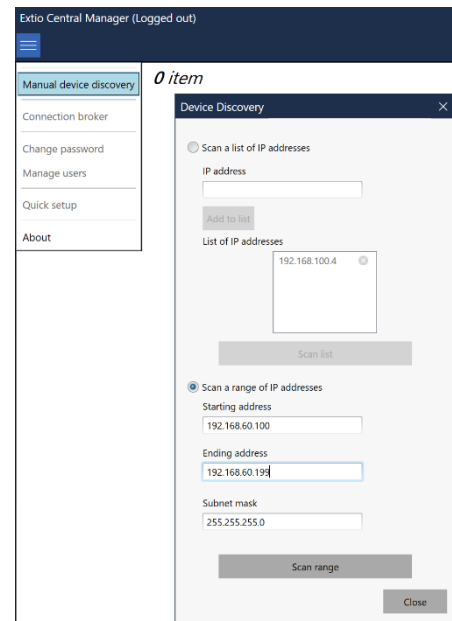
5.1 デバイスを検出する

メニューから「Manual device discovery」から、検出するデバイスの IP アドレスを入力します。

IP アドレスがわかっている場合は、List of IP Address を使用します。

アドレスが不明の場合は、Range of IP Address を使用して範囲の中から検出します。

自動でデバイスが検出されている場合は、次項 5.2 に進んでください。



5.2 ログイン（管理者ユーザー情報登録）

Log into Extio Central Manager の Show ボタンを押し、管理者ユーザー情報を登録します。Domain を使用した管理以外は、Local User での登録を行います。


ここで設定したユーザー名及びパスワードは、Extio3 の設定変更時、OSD へのログイン時に必要となりますので忘れずに管理して下さい。

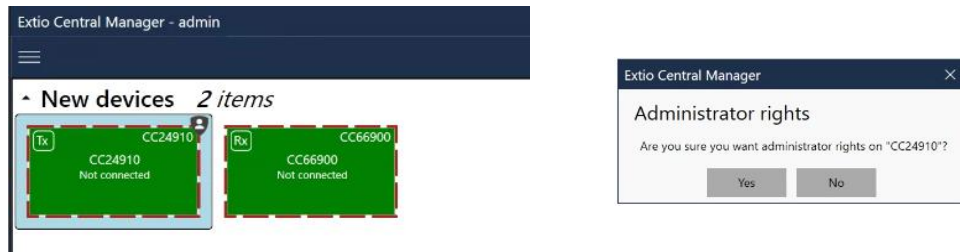
設定画面

受信機ディスプレイ上の OSD ログイン画面

5.3 デバイスの管理者権限を取得

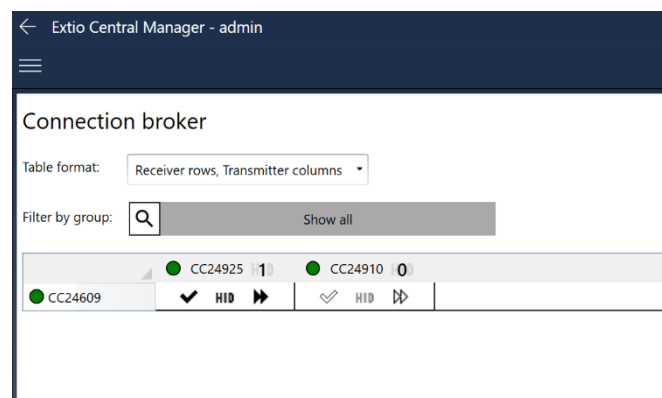
管理者ユーザーとしてログイン後、設定を行う対象の Extio3 を登録します。タイル右上の認証アイコン押すことで管理者ユーザーの権限が Extio3 に登録され設定可能となります。

認証アイコン 








5.4 デバイスの結びつけ

Allow device connection から送信機と受信機の結びつけを行います。Connection broker のマトリクス表のアイコンをクリックして、使用する機能の設定を行います。

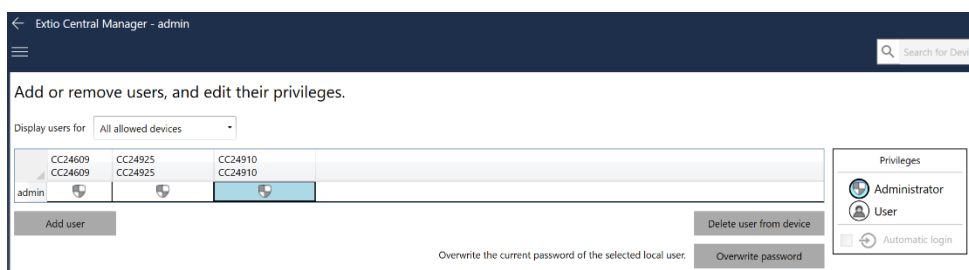


	送信機と受信機の接続を許可します
	デバイスは利用可能ですが、送信機と受信機の間接続は許可されていません
HID	<p>USB HID (Human Interface Device) を予約します</p> <p>これにより、USB ポートを予約して、以前に接続されたデバイス (キーボードまたはマウス) をより迅速に接続できるようになります</p> <p>これを予約すると、HID USB デバイスの数がリストされ USB 予約の最大数は 16 です</p>
HID	USB HID は予約されていません

	ゲストとの共有接続が許可されています
	デバイスが応答しない、失われる、または検出されない場合があります
	送信機と受信機間の競合が検出されました
	トランスミッター間の高速切り替えが可能です
	送信機間の高速切り替えは有効になっていません

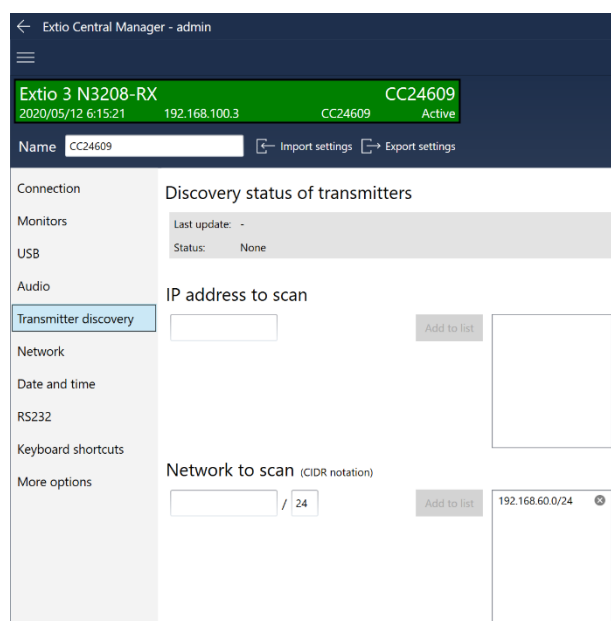
5.5 ユーザー管理

Manage user からデバイスのユーザーを設定します。



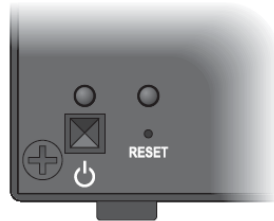
5.6 受信機から送信機の検出

受信機の OSD 画面から送信機が表示されない場合は、受信機の「Transmitter discovery」から IP アドレスを使用して対象のデバイスを検出します。



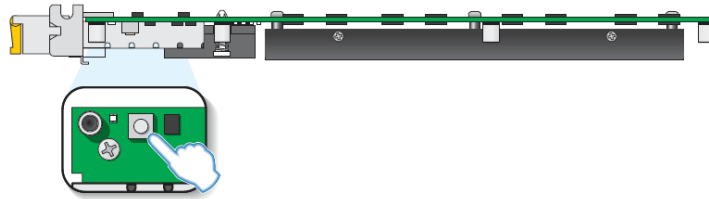
6 デバイス設定のリセット

6.1 送信機/受信機



電源ボタン横にある RESET ボタンを 5 秒押し続け、電源 LED が早い点滅を始めたらボタンを離します。IP アドレスを始め各種設定が初期化されます。

6.2 カードタイプ送信機

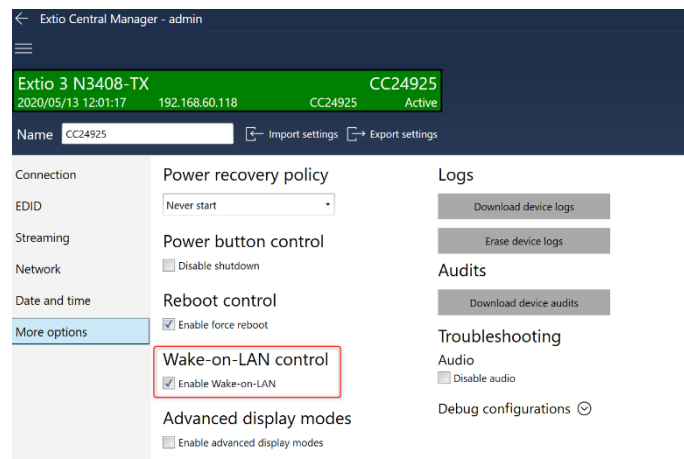


カードの横にある RESET ボタンを 5 秒押し続け、インジケータランプが早い点滅を始めたらボタンを離します。IP アドレスを始め各種設定が初期化されます。

7 設定ポイント

7.1 Wake-on-LAN [リモートから電源 On] (送信機/受信機共通)

Wake-on-LAN でのデバイス起動(電源 On)に対応しています。この機能を利用する場合は、Matrox Control Manager から各デバイスで設定を有効にします。



7.2 オーディオ(受信機)

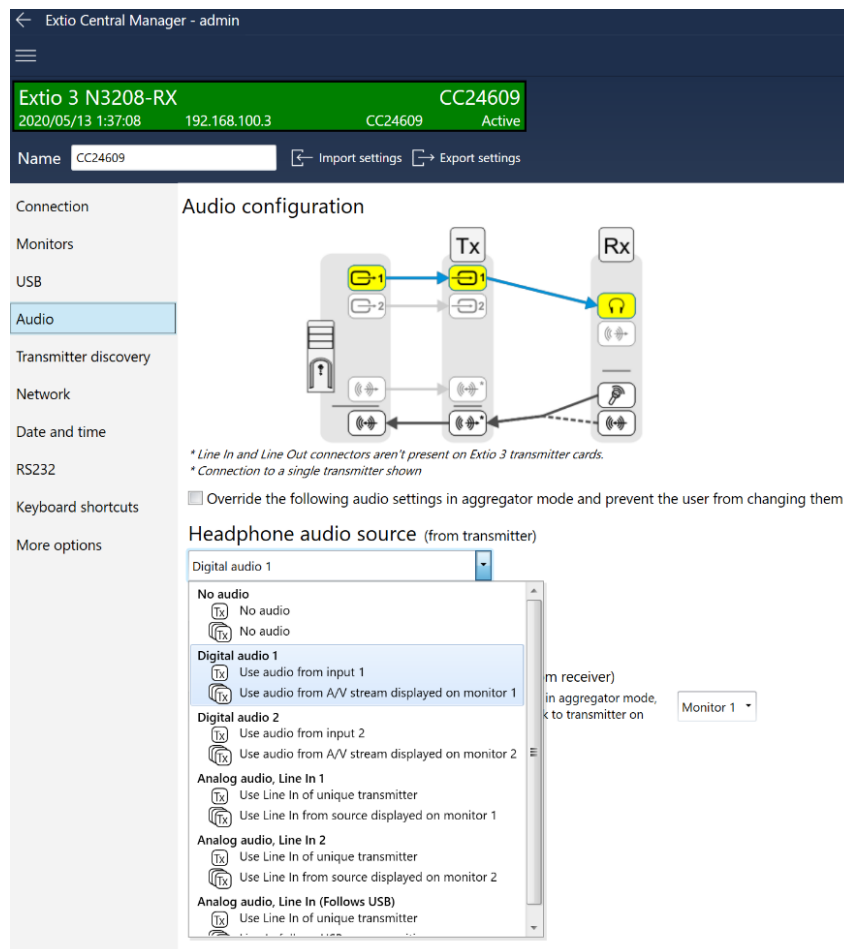
Matrox Control Manager から受信機にてオーディオ出力の設定を行います。

受信機からのオーディオ出力はアナログとなり、PC から送信機への出力は、アナログとデジタル(DisplayPort 経由)の選択が可能です。

PC から送信機へのアナログ出力は、PC と送信機をアナログケーブルで接続が必要です。

PC から送信機へのアナログ出力は、音量が小さくなるため、デジタル(DisplayPort 経由)を推奨します。

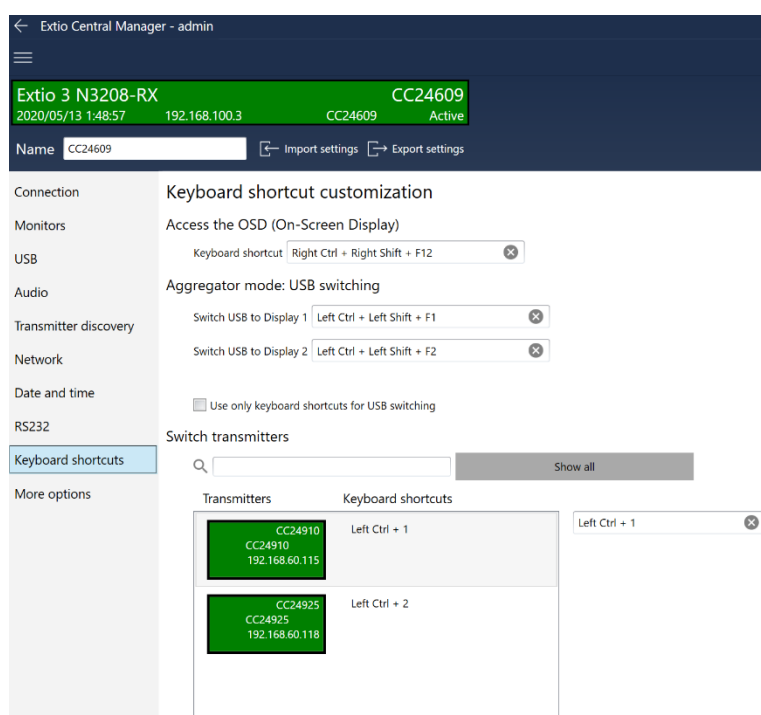
PC の OS 上のオーディオ再生デバイスは、標準オーディオを設定してください。



7.3 キーボードショートカット (受信機)

受信機の OSD 表示及び送信機の切替えにショートカットキーの使用が可能です。

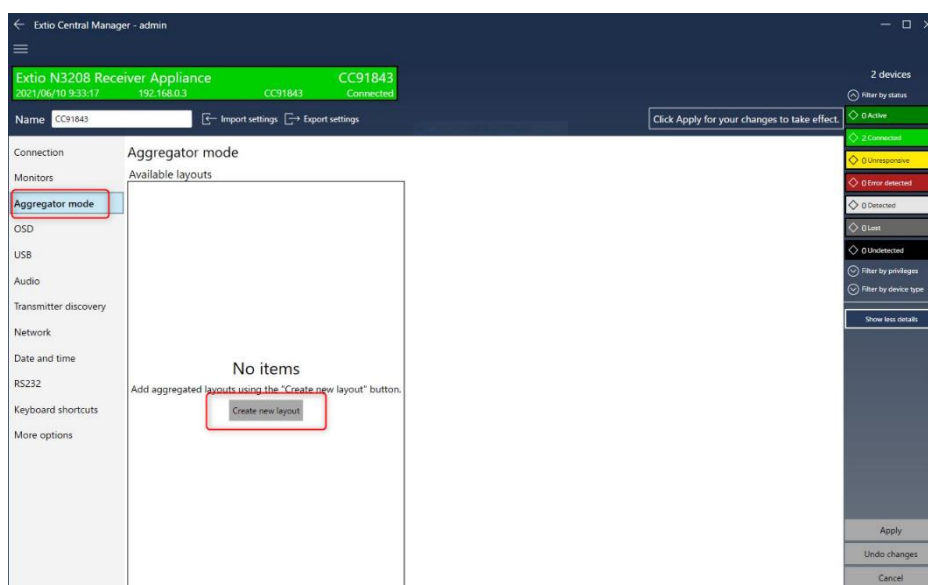
設定は、Matrox Control Manager から受信機の Keyboard Shortcuts から行います。



8 統合表示モード (Aggregator mode:アグリケーターモード)

受信機とコンソールの 1 組で、最大 4 台の PC を切替え操作することなく、シームレスに操作をすることが
できるモードです。設定は受信機の OSD 画面で行います。

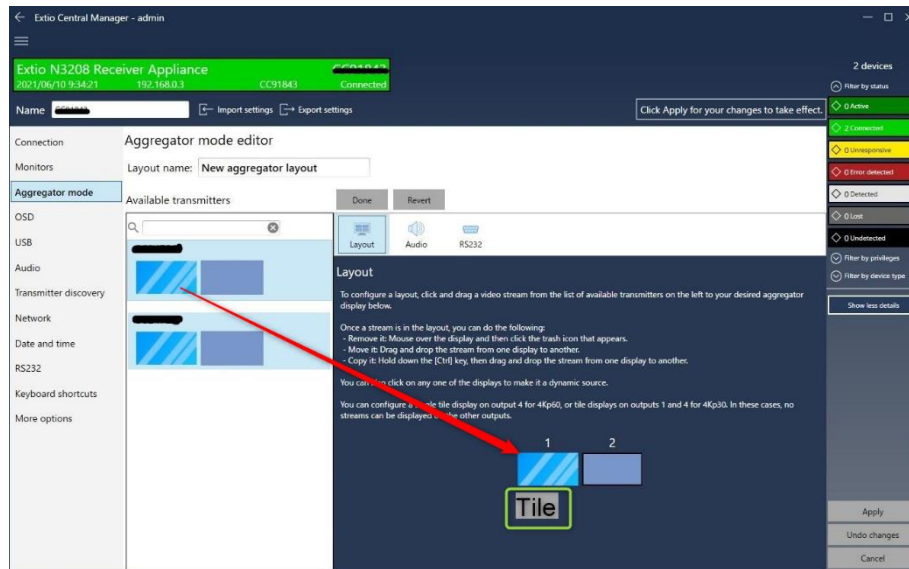
- ① Matrox Control Manager > Aggregator Mode 設定にて、「Create new layout」をクリックしま
す。



② 使用する送信機を設定します。

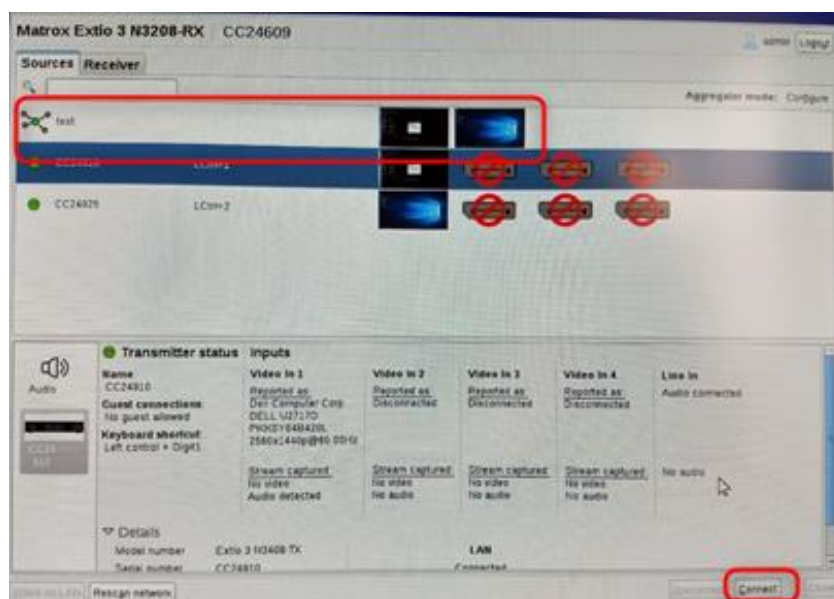
複数のモニターを使用する場合は、送信機の一覧から使用する画面表示アイコンを Layout 設定ヘドラッグアンドドロップします。

1 つのディスプレイ内で複数の送信機を使用する場合は、[Tile] ボタンを押し画面構成を選択後、送信機の一覧から使用する画面表示アイコンをドラッグアンドドロップします。



③ 受信機に接続したキーボードにて[Scroll Lock]を押し、設定した統合表示モードを選択すると表示されます。

作成した構成を選択して画面下の Connect を押します。



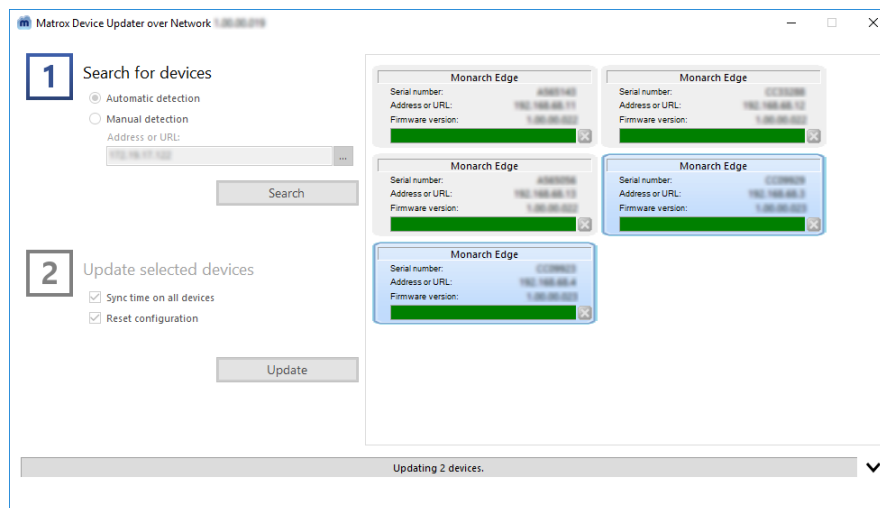
9 ファームウェアのアップデート

デバイスを最新の状態でご利用頂く為にファームウェアの更新が必要な場合があります。使用の際、Matrox Extio Central Manager とファームウェアのバージョンは一致している必要があります。

注意事項：

管理ソフト「Matrox Extio Central Manager」を起動中の場合はプログラムを閉じて下さい。

デバイスのエンコード処理を全て停止して下さい。



アップデートが可能な機器のみ、選択することができます。（選択時は青色表示）

1. 下記の Web サイトより、ファームウェア更新プログラムのダウンロードをして下さい。

<https://www.matrox.com/en/video/apps/drivers/home>

- ・LAN 環境でご使用の場合は、ネットワークの上の PC でダウンロードしたファイルを解凍し UpdaterOverNetwork.exe を実行します。
- ・Point to Point 環境でご使用の場合は、送信機に接続した PC 上でダウンロードしたファイルを解凍し Updaterfromhost.exe を実行します。

2. 「Search for device」項目で更新対象のデバイスを検出します。Automatic detection（自動検出）または Manual detection（手動検索）を選択し、「Search」ボタンを押します。
3. 検出されたデバイスがアイコン表示されます。更新する対象のアイコンを選択して下さい。全てのデバイスを更新する場合は Sync time on all devices にチェックを入れています。「Update」ボタンを押します。
4. 更新作業に数分～数十分程度かかる場合があります。更新中はネットワークケーブルを抜いたり、電源を切ったりしないで下さい。

10 仕様

10.1 Extio3 N3208 (2 映像伝送タイプ) デバイス仕様

製品名	Extio3 N3208 送信機	Extio3 N3208 カードタイプ送信機	Extio3 N3208 受信機
製品型番	EXTIO3/N3208TX	EXTIO3/N3208CTX	EXTIO3/N3208RX
ビデオ接続			
ビデオ 1	DisplayPort 1.1 (入力ポート)	Mini DisplayPort 1.1 (入力ポート)	DisplayPort 1.1 (出力ポート)
ビデオ 2	DisplayPort 1.1 (入力ポート)	Mini DisplayPort 1.1 (入力ポート)	DisplayPort 1.1 (出力ポート)
ビデオ (プレビュー)	DisplayPort 1.1 (プレビュー出力) ※将来のファームウェア更新で対応予定	-	-
USB2.0 (Type B)	1 ポート (ホスト接続用)	1 ポート (ホスト接続用 miniUSB)	-
USB2.0 (Type A)	1 ポート (ホスト接続用)	-	4 ポート (デバイス接続用)
ライン入力 (3.5mm)	1 ポート	-	1 ポート
ライン出力 (3.5mm)	1 ポート	-	1 ポート
マイク入力 (3.5mm)	-	-	1 ポート
ヘッドフォン出力 (3.5mm)	-	-	1 ポート
RS232 端子 (9 ピンシリアル)	1 ポート	-	1 ポート
PCI Express	-	PCI Express x8 (物理形状 x16)	-
ビデオ最大解像度			
2 面出力	-	-	1920 x 1200@60Hz
1 面出力	1920 x 1080@60Hz	-	2560 x 1600@60Hz

カラースペース	YUV 4:4:4 RGB 8:8:8	YUV 4:4:4 RGB 8:8:8	YUV 4:4:4 RGB 8:8:8
Proxy ストリーム解像度	1920 x 1080@60Hz YUV 4:2:0	1920 x 1080@60Hz YUV 4:2:0	1920 x 1080@60Hz YUV 4:2:0
ネットワーク接続			
ネットワーク仕様	1000 Base-T (半 2 重/全 2 重) Auto コネクト	1000 Base-T (半 2 重/全 2 重) Auto コネクト	1000 Base-T (半 2 重/全 2 重) Auto コネクト
IP アドレス仕様	IPv4 / IPv6	IPv4 / IPv6	IPv4 / IPv6
RJ45 ポート (標準)	1 ポート	RJ45 SFP モジュール 1 ポート	1 ポート
SFP モジュール (オプション)	オプション選択	オプション選択	オプション選択
ステレオ音声			
DisplayPort インベデッド音声	対応	対応	対応
アナログ音声	対応	—	対応
その他			
消費電力	34W	32.5W	34W
LED (テータス表示)	対応 (3 つ)	対応 (1 つ)	対応 (3 つ)
電源/リセットボタン	対応	—	対応
ラックマウント	対応	—	対応
AC アダプター	抜け防止対応	—	抜け防止対応
形状	ハーフラックサイズ	ボードタイプ	ハーフラックサイズ
サイズ	18.9cm x 4.26cm x 21.66cm	フルハイト (3/4 レンクスサイズ)	18.9cm x 4.26cm x 21.66cm
最大伝送距離			
※オプション対応 OM2, OM3, OM4 (50/120μ) マルチモード	550m	550m	550m
※オプション対応 OM1 (62.5/125 μ)	275m	275m	275m

マルチモード			
※オプション対応 OS1, OS2 (9/125 μm) シングルモード	5km	5km	5km
※標準構成 Cat5e, Cat6	100m	100m	100m
アクセサリ (別売)			
型番	XTO3-SFPMM	XTO3-SFPSM	RMK-19TR-A
形状	SFP モジュール (1.25Gbps)	SFP モジュール (1.25Gbps)	-
仕様	マルチモード (オプティカル)	シングルモード (オプティカル)	19 インチ・ラックマウント アダプター

10.2 Extio3 N3408 (4 映像伝送タイプ) デバイス仕様

製品名	Extio3 N3408 送信機	Extio3 N3408 カードタイプ送信機	Extio3 N3408 受信機
製品型番	EXTIO3/N3408TX	EXTIO3/N3408CTX	EXTIO3/N3408RX
ビデオ接続			
ビデオ 1	DisplayPort 1.1 (入力ポート)	Mini DisplayPort 1.1 (入力ポート)	DisplayPort 1.1 (出力ポート)
ビデオ 2	DisplayPort 1.1 (入力ポート)	Mini DisplayPort 1.1 (入力ポート)	DisplayPort 1.1 (出力ポート)
ビデオ 3	DisplayPort 1.1 (入力ポート)	Mini DisplayPort 1.1 (入力ポート)	DisplayPort 1.1 (出力ポート)
ビデオ 4	DisplayPort 1.2 (入力ポート)	Mini DisplayPort 1.1 (入力ポート)	DisplayPort 1.2 (出力ポート)
ビデオ (プレビュー)	DisplayPort 1.1 (プレビュー出力) ※将来のファームウェア更 新で対応予定	-	-
USB2.0 (Type B)	1 ポート	1 ポート	-

	(ホスト接続用)	(ホスト接続用 miniUSB)	
USB2.0 (Type A)	1 ポート(ホスト接続用)	–	6 ポート(デバイス接続用)
ライン入力 (3.5mm)	1 ポート	–	1 ポート
ライン出力 (3.5mm)	1 ポート	–	1 ポート
マイク入力 (3.5mm)	–	–	1 ポート
ヘッドフォン出力 (3.5mm)	–	–	1 ポート
RS232 端子 (9 ピンシリアル)	1 ポート	–	1 ポート
PCI Express	–	PCI Express x8	–
ビデオ最大解像度			
4 面出力	–	–	1920 x 1080@60Hz
3 面出力	–	–	1920 x 1200@60Hz
2 面出力	–	–	2560 x 1600@60Hz 3840 x 2160@30Hz
1 面出力	1920 x 1080@60Hz	–	3840 x 2160@60Hz
カラースペース	YUV 4:4:4 RGB 8:8:8	YUV 4:4:4 RGB 8:8:8	YUV 4:4:4 RGB 8:8:8
Proxy ストリーム 解像度	1920 x 1080@60Hz YUV 4:2:0	1920 x 1080@60Hz YUV 4:2:0	1920 x 1080@60Hz YUV 4:2:0
ネットワーク接続			
ネットワーク仕様	1000 Base-T (半 2 重/全 2 重) Auto コネクト	1000 Base-T (半 2 重/全 2 重) Auto コネクト	1000 Base-T (半 2 重/全 2 重) Auto コネクト
IP アドレス仕様	IPv4 / IPv6	IPv4 / IPv6	IPv4 / IPv6
RJ45 ポート (標準)	1 ポート	RJ45 SFP モジュール 1 ポート	1 ポート
SFP モジュール (オプティカル)	オプション選択	オプション選択	オプション選択
ステレオ音声			
DisplayPort エンベデッド音声	対応	対応	対応
アナログ音声	対応	–	対応

その他			
消費電力	57W	41W	57W
LED (テータス表示)	対応 (3 つ)	対応 (1 つ)	対応 (3 つ)
電源/リセットボタン	対応	–	対応
ラックマウント	対応	–	対応
AC アダプター	抜け防止対応	–	抜け防止対応
形状	ハーフラックサイズ	ボードタイプ	ハーフラックサイズ
サイズ	18.9cm x 4.26cm x 21.66cm	22.91cm x 11.12 cm (うち端子部 9mm)	18.9cm x 4.26cm x 21.66cm
最大伝送距離			
※オプション対応 OM2, OM3, OM4 (50/120μ) マルチモード	550m	550m	550m
※オプション対応 OM1 (62.5/125 μ) マルチモード	275m	275m	275m
※オプション対応 OS1, OS2 (9/125μ m) シングルモード	5km	5km	5km
※標準構成 Cat5e, Cat6	100m	100m	100m
アクセサリ (別売)			
型番	XTO3-SFPMM	XTO3-SFPSM	RMK-19TR-A
形状	SFP モジュール (1.25Gbps)	SFP モジュール (1.25Gbps)	–
仕様	マルチモード (オプティカル) 2 芯 LC タイプ	シングルモード (オプティカル) 2 芯 LC タイプ	19 インチ・ラックマウント アダプター

10.3 電源ユニット仕様 及び 規格

電源ユニット	
入力電圧	100V ～ 240V A.C.
周波数	50 ～ 60 Hz
入力コネクタ	IEC 60320-C14
出力電圧	12V D.C.
出力アンペア	5A
出力コネクタ	DIN 4 ピン (ロック機能付き)
最大電力	60W
規格	
適合規格	Class A : CE, FCC, ICES-3, KC, RCM, VCCI
レーザー規格	850 μm laser compliant to 21CFR, Subpart J, Class 1

10.4 ネットワークプロトコル・ポート

[Extio Central Manager ソフトウェア]

Network Port	Type	Inbound	Outbound	Functionality
53	TCP	—	✓	DNS: DNS requests
443*	TCP	—	✓	HTTPS: Central Manager commands
1900*	UDP	✓	✓	UPnP: Microsoft SSDP for discovery of UPnP devices Note: ICMP must be enabled (ping).

* Minimum requirements.

[Firmware updater]

Network Port	Type	Inbound	Outbound	Functionality
20,21	TCP	—	✓	FTP: File upload
22*	TCP	✓	✓	SSH: Firmware update
443*	TCP	—	✓	HTTPS: Authentication
1900*	UDP	✓	✓	UPnP: Microsoft SSDP for discovery of UPnP devices

* Minimum requirements.

[Extio 3 デバイス]

Network Port	Type	Inbound	Outbound	Functionality
20,21	TCP	✓	—	FTP: File download (firmware)
22*	TCP	✓	✓	SSH: Firmware update
69	UDP	—	✓	DHCP: DHCP client
123	UDP	✓	✓	NTP: Network Time Protocol
161	UDP	✓	✓	SNMP: Network management (public community string)
443*	TCP	✓	—	HTTPS: Extio Central Manager commands and Firmware Updater Authentication
1900*	UDP	✓	✓	UPnP: Microsoft SSDP for discovery of UPnP devices
Ephemeral*	UDP	✓	✓	RTP/RTCP: Audio and video streams and control
12000	TCP	✓	✓	RS232: RS232 virtualization

* Minimum requirements.